

1. 科目名 (単位数)	心理学概論 (2 単位)	3. 科目番号	GELA1311
2. 授業担当教員	酒井 博美		
4. 授業形態	講義・演習 (ディスカッション、グループ学習含む)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし		
7. 講義概要	心理学は、人の行動や感情を科学的に研究することを通して、人間を理解しようとする学問である。本科目は、心理学という学問の歴史的背景や特徴を含めた基本的な考え方について、心理学の主要な分野における代表的な研究知見や基礎理論を幅広く学ぶことを通して、人間の行動と精神活動の本質的な理解を図るものである。		
8. 学習目標	1.心理学が生まれてきた歴史を概観し、説明することができる。 2.心理学系専門科目を学ぶための基礎知識、心理学的視点を身につける。 3.心理学の主要な分野における代表的な研究知見について理解し、説明できるようになる。 4.心理学的視点や基礎理論に基づいて、身近な具体性のある人間理解ができるようになる。 5.心理学的視点から、自己、他者、社会の問題について考え、他者に伝えられるようになる。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	各回に次回講義に向けてのキーワードを提示するので、事前学習として、下記に示した参考書などをもとに内容を確認しておくこと。毎回の授業開始時にその内容について発表してもらう。また15回の授業が終了した後、別途これまでの学習内容の習熟度を確保するための期末試験を行う。各回の講義内容の理解を定着させるように、毎回の復習を確実にを行うこと。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】指定せず、適宜プリント教材を配布する。 【参考書】鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃 編 「心理学 第5版」 東京大学出版会。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1.心理学が生まれてきた歴史を概観し説明することができる 2.心理学系専門科目を学ぶための基礎知識と心理学的視点を身につける 3.心理学的視点や基礎理論に基づいて、身近な具体性のある人間理解ができる ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加、授業のまとめ等のアサインメント)50%、試験(小テスト等を含む)50%として算出した合計得点により成績評価を行う。		
12. 受講生へのメッセージ	心理学の基礎的かつ幅広い知識を学ぶ授業です。本講義の内容を確実に理解することで、その後に学ぶ心理学領域の科目の内容理解が促進されることが期待されます。各回の授業に真剣に取り組んでください。		
13. オフィスアワー	授業内に周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション、心理学の成り立ち	事前学習	シラバスに目を通し、本講義がどのような内容を扱うのか理解しておく。
		事後学習	心理学の歴史的背景と現代への流れについて説明できるようにする。
第2回	感覚と知覚 (1) : 外界の刺激を捉えるプロセス、感覚の特性	事前学習	「五感」について調べておく。
		事後学習	感覚特性について説明できるようにする。
第3回	感覚と知覚 (2) : 知覚の特性	事前学習	「目の錯覚」について調べておく。
		事後学習	知覚特性について説明できるようにする。
第4回	記憶 (1) : プロセス、種類	事前学習	「短期記憶、長期記憶」について調べておく。
		事後学習	記憶のプロセスと分類について説明できるようにする。
第5回	記憶 (2) : 特徴的な現象、忘却理論	事前学習	人間が「忘れる理由」を考え、書き出しておく。
		事後学習	記憶の特徴的な現象と忘却の要因について説明できるようにする。
第6回	学習 (1) : 古典的条件づけ、オペラント条件づけ	事前学習	「パブロフのイヌ」について調べておく。
		事後学習	古典的/オペラント条件づけについて説明できるようにする。
第7回	学習 (2) : 社会的学習、問題解決学習	事前学習	「見よう見まね」「試行錯誤」について調べておく。
		事後学習	社会的学習と問題解決学習について説明できるようにする。
第8回	脳とこころ: 脳の構造と機能、高次脳機能障害	事前学習	大脳皮質の「前頭葉、側頭葉、頭頂葉、後頭葉」の場所と主な機能について調べておく。
		事後学習	脳の構造と各機能および代表的な高次脳機能障害について説明できるようにする。
第9回	動機づけと欲求: 内発的/外発的動機づけ、欲求の階層性)	事前学習	「マズローの欲求階層説」について調べておく。
		事後学習	内発的/外発的動機づけおよび欲求階層説について説明できるようにする。

第10回	性格と個人差(1): 類型論と特性論	事前学習	「血液型と性格の関連」をどう考えるか、意見を書き出しておく。
		事後学習	性格の類型論と特性論について説明できるようにする。
第11回	性格と個人差(2): 測定の方法	事前学習	「性格検査」にどのようなものがあるか調べておく。
		事後学習	質問紙法、投影法、作業法について説明できるようにする。
第12回	知能: 構造の理論、測定の方法	事前学習	「知能検査」にどのようなものがあるか調べておく。
		事後学習	知能の構造および知能検査について説明できるようにする。
第13回	ストレスと適応: 原因、対処	事前学習	自身の「ストレス対処法」を5つ挙げておく。
		事後学習	ストレスの概念、影響、対処について説明できるようにする。
第14回	社会と個人: 印象形成、対人魅力	事前学習	「対人魅力」とは何かを調べ、その要因について考えを書き出しておく。
		事後学習	印象形成、対人魅力、社会集団について説明できるようにする。
第15回	まとめ	事前学習	これまでの内容について、ノートおよび配布プリントを用いて一通り振り返っておく。
		事後学習	これまでの内容について、知識の定着を図る。
期末試験			